

令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	15	学 校 名	東部特別支援学校伊東分校	校 長 名	長崎 良夫
------	----	-------	--------------	-------	-------

【関係者評価】

評価	基 準	評価	基 準
A	十分目標を達成することができた。	C	あまり目標を達成することができなかった。
B	おおむね目標を達成することができた。	D	ほとんど目標を達成することができなかった。

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

（1）〈守る〉安全に配慮され、のびのびと安心して学べる学習環境を整備する

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
	安全・安心を守る学校組織の機能充実				
ア	(ア) 予防的な安全確認によるリスク管理	・校内において児童生徒の重大事故発生がなかった。 ・計画に基づき定期的に予防的点検、環境整備が行われた。	A	A (100%)	・第2回の学校運営協議会でも AED の扱い方やヒヤリハットの収集など、しっかりとした体制で取り組まれている報告を受け、感服いたしました。フィードバックなど大変な作業になりますが疎かにできない部分なので引き続きよろしくお願いします。 ・新校舎に移り少しずつ校舎のリスクも把握されている様、予防点検の積み重ねによりリスクを最小にする意識も高く感じる。 ・広い校舎なので安全点検は大変だと思いますが、細かい安全計画があり、わかりやすく見落としもなく点検できるのでとてもいいです。子どもたちの行動から、こんなところも危険というのが見えてくることもあるので、日々の観察も引き続きお願いします。 ・市内各所で建物の老朽化による被害が発生している。起きてしまう前に日頃からの点検、見回りを徹底していただけたらと思います。
	(イ) 発災時の初動体制共有と1次避難後の対応整備	・全職員が初動体制を理解し、児童生徒が落ち着いて避難できた。 ・避難場所運営計画が作成された。	A	A (100%)	・様々なシチュエーションの想定大切だと思いますが、練度を高めることや外部との避難場所設置訓練なども行う必要があると感じています。 ・防災訓練時、すばやく落ち着いた避難訓練がされていた。生徒職員共に高い防災意識を感じる。今後も継続していただきたい。 ・避難訓練はとても落ち着いて行動できていました。先生方の役割などもしっかりしていて、子どもたちも不安にならずできるのだと感じました。 ・避難訓練の様子を見させていただいたが、とても素晴らしかった。土砂災害などに向けても想定されており、今後も起きる可能性が考えられるものに対して備えていただきたい。

様式第5号

人権を尊重した教育・困難を抱える児童生徒への連携した支援					
イ	(ア) 一人一人の人権意識向上と共有	・教職員の不適切な指導ゼロ	A	A (100%)	・年間計画、研修の実施により成果を出されている。 ・不適切な指導は気づかぬうちにやっていることもあるので研修や計画の中で時々改めることもできていていいと思います。 ・学期ごとに人権研修を行っているということで素晴らしい取り組みだと思う。今後も引き続きよろしく願います。
	(イ) 必要な児童生徒への家庭・関係機関と連携した支援	・支援が必要な児童生徒が確実に把握され、校内の各職種や関係機関で連携した支援体制を作ることができた。	A	A (100%)	・生徒や家庭に寄り添った支援を行って問題意識の共有にも努めている。 ・連携して支援していくことが必要な家庭の多さを感じます。 ・今後も様々なケースに対応できるよう、あらゆる所と連携して支援につなげていきたいです。

(2) <育む> 高い専門性に基づき、自己実現に向け、個に応じた指導・支援を展開する。

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
アセスメントによる課題把握に基づく指導・支援					
ア	(ア) 個の課題に応じた専門性の高い指導	・一人一人の児童生徒の「良さ」に着目して具体的指導方法を検討して授業を実践できたとする教員8割以上。 ・情報機器活用で分かりやすい、楽しいと感じる児童生徒が8割以上。	B	A (67%) B (33%)	・児童生徒の個性に寄り添った指導をしていただいていると感謝しております。 ・現状でも生徒の満足度も高い様、より高い質の授業を目指していただけたらありがたい。 ・情報機器を使い、目で見えてわかりやすいのがよいと思いました。 ・参観時の時、どの学年もとても工夫されていて、子どもたちの特性に合わせた支援を取り入れていて、みんな楽しく参加できるなど感じました。 ・参観で見せていただく度に児童生徒一人一人に寄り添った活動、授業を行っている。本当に素晴らしいと毎回感じています。
年齢段階に応じたキャリア教育の充実とキャリアパスポートの活用					
イ	(ア) 系統性を考えたキャリア教育	・各段階でキャリア教育を意識した単元が設定され、学んだ内容がキャリアパスポートに整理されている。	B	A (83%) B (17%)	・面談等でもヒアリングと対話がなされキャリアパスポートを相互に確認できていると思います。 ・生徒一人一人のキャリアパスポートの整理、運用がなされている。 ・課題にあるように、作成したキャリアパスポートをどう役立てていくか、継続して使っていけるかを考えていけばいいものだと思います。 ・保護者と情報を共有して作成。素晴らしいです。

様式第5号

(3)〈つなぐ〉「地域の中で育つ児童生徒、地域の中で役割を果たす学校」をめざす。

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
	校地が離れた学校間の新たな交流方法・共同学習の工夫				
ア	(7) 新たな方法での学校間交流推進	・ 小学部各学年と伊東小との直接交流が開始された。 ・ 中学部で伊東北中との共同学習が年4回実施された。	A	A (100%)	・ 今後の北中学校の閉校への対応を協議できればと思います。 ・ 直接交流が再開され、両校の生徒も楽しみにされている。距離的な問題もあったが、年間計画に基づき実施されている。 ・ 場所が離れても交流を続けられてよかったです。こちらから行くだけでなく来てもらうことで伊東分校を知ってもらえます。これからも続けていってください。 ・ 再開～継続～積み重ねを期待したい。 ・ 今後もぜひ継続していってください。
	地域と一層の連携促進、地域資源の活用推進				
イ	(7) 地域の分校理解推進。新たな地域資源の活用。	・ 新校地周辺の方と共に学ぶ場が企画され、湯の花商店街との交流活動も年2回継続実施された。	A	A (100%)	・ 旭山の保全という課題について地域の方々や行政の方々と協力した活動が興えると相互メリットにつながると思うので、持続可能な形を考えていけたらと思います。 ・ 七夕交流やビーズ製作など湯の花商店街との交流は地域活性の一つとなっている。無理がなければぜひ継続していただきたい。 ・ 湯の花商店街との交流に、新しい地域とのつながりが加わり、交流の幅が広がったのは良いことだと思いました。 ・ 交流がさらに広がったこと、心からうれしく思います。今後も子ども達に様々な経験をよろしく願います。
	地域のニーズに即した特別支援教育のセンター的取組の充実				
ウ	(7) 地域のニーズ把握と教育力向上の支援	・ 見学会等を通じセンター的役割の説明が行われた。 ・ 利用後に支援が役立ったと考える機関8割以上。	B	A (83%) B (17%)	・ 8割以上に好評というのは高く評価してよいと思います。 ・ 知見を広めることにより相互の理解が一層深まることが期待できる素晴らしい取り組み。 ・ 特別支援教育の相談はこれから増えてくのではと感じています。 ・ 近年様々な特性を持つ子が増えていると伺う。小中学校において受け持つ先生によって対応も異なっている。ぜひセンター的機能を強化し、近隣の学校、教員の対応力向上につなげていただきたい。

- ・ 地域のニーズ（相談等）がどのような内容、対応なのか、支障のない範囲で当日話していただきたい。
- ・ ボランティア等の受け入れ（活用）状況（事例）と、郊外行事等への発信、貢献（例）など、口頭で補足していただけるとわかりやすいと思います。

様式第 5 号

(4)〈高める〉教職員が互いに支えあい高めあい、仕事を通して自己実現できる環境を作る。

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
	地域から信頼され、教職員にとって働きがいのある学校を作るための業務改善				
ア	(7) 不祥事要因の分析によるコンプライアンス研修充実	・不祥事要因と防止のための注意点が共有され不祥事の発生がなかった。 ・交通安全上の注意点が共有され重大事故がなかった。	A	A (100%)	・コンプライアンス遵守について違反がないことは素晴らしいので継続していただけたらと思います。 ・車通勤の方々がほとんどだと思いますがアルコールチェックなどは取り組みがあるのでしょうか。 ・良い点や問題点をしっかりと共有されることが事故の防止へと生かされている。 ・研修を受けることによって、それぞれ自分で気を付けよう、考えようという意識が持てます。 ・今後も注意点、意見などもみんなで共有しあえる環境に努めていただきたい。
	(イ) 教育課程全体を見通した行事計画策定と会議等時間管理徹底	・学校行事が精査された上で整理・計画され、その目的が保護者にも説明された。 ・緊急時を除き職員会議、学部会、分掌課会 60 分超なし。	B	A (67%) B (33%)	・勤務時間外での会議というのは改善が必要だと思いました。 ・教職員の方の心のゆとりなどが教育に関係することもある様、責任ある職務についてありますが、しっかり休憩などしていただき、心身ともに休めて努めてください。 ・人数が多いと連絡が行き届かなかつたりするのですが、提示の仕方を工夫し、みんなが共有できるようになっていいです。 ・会議長くなりがちですが、時間を決めてやるのはとても良いと思います。
	職員がそれぞれの強みを生かし、互いに支えあう職場風土の醸成				
イ	(7) 個々の強み生かした配置と職員相互の理解促進。	・学校経営に参画できたと考える職員 8 割以上。 ・グループワークの効果があつたと考える職員 8 割以上。	B	A (83%) B (17%)	・「262 の法則」にそっているので良好な状況だと思います。 ・現状、風通しの良い環境を作ってくださっていると感じます。互いの意見を尊重されしっかりと意識の向上に努められております。 ・なかなか全体の会議では、自分の意見を言える場がないので、グループワークなど必要ですが、会議が多くやりきれなくなることはないのですか？